世界の女性・ジェンダー図書館めぐり

About　女性図書館@LSE

The Women's LibraryはLondon School of Economics and Political Scienceの図書館の一部で、LSE学内研究者の資料庫として位置づけられています。

The Women‘s Library所蔵の資料は、参政権運動の始まりから現在に至るまでの、女性の権利と女性の平等を求める運動の歴史を物語っています。そのなかには、ユネスコに認定された文書、貴重な書籍、オリジナルの参政権バナーなどのオブジェクトが含まれています。資料は主に19世紀後半から現代までのもので、イギリスに焦点を当てたものが多いです。

LSE THE LONDON SCHOOL OF ECONOMICS AND POLITICAL SCIENCE

The Women's Library

‘... the Library is probably dearest to my heart, for it keeps alive the history of “the long march to equality”.’ - Mary Stott, 1987

GRL

紹介ポスターシリーズ第6弾：The Women's Library @LSE

利用にあたって

基本的に資料の利用は学内者のみを想定して閉架になっています。そのため、学外者の場合は、事前に利用理由などを担当者に連絡し、アポイントを取る必要があります。ただし、一部の蔵書は、LSEの図書館HPからアクセスして閲覧することが可能です。

timeline

ホームページには、LSE LibraryとThe Women‘s Library @ LSEにある幅広い資料の中から代表的なものが選ばれています。このtimelineから過去500年間の女性の平等のための戦いを象徴する個人的、政治的、経済的な闘争を旅してみましょう。16世紀から現代までの300点以上の資料が年代順に紹介され、年表と具体的な説明がご覧いただけます。